

鳴く虫をいっぱいつかまえました

9月17日は、鳴く虫の観察会を行ないました。えどがわエコセンターの自然学校として広報で呼びかけたところ、たくさんの親子の応募があり、講師スタッフを含めて42名の参加となりました。

鳴く虫の達人石水史昭さんが講師で、秋の鳴く虫について説明がありました。石水さんから虫のとり方を教わった子どもたちはそれぞれコオロギやバッタを捕まえました。コロコロンときれいな声で鳴いているエンマコオロギは、鳴き声をめがけて草を掻き分けて捕まえます。また、草原に白いシートを敷いて周りから追い込む方法では、シバズ、マダラスズなどの小さなコオロギ類がつかまりました。コウモリ傘を裏返して脇におきヨモギやセイタカアワダチソウをゆするとカンタンやヒロバネカンタンが飛び込んできます。ツツレサセコオロギやオカメコオロギもつかまりました。

ツツレサセコオロギという奇妙な名のいわれについて「つづれさす」とはほころびを縫うという意味で、よく家の周りで鳴くこのコオロギが「つづれさせ、つづれさせ」と鳴いているように聞こえることからつけられたといえます。

また、バッタ類ではトノサマバッタ、コバネイナ



虫の捕まえ方を説明する石水さん(中央)

ゴ、クビキリギス、コロギス、ツコムシ、セスジツコムシ、ササキリなど、さらに、カマキリ類はオオカマキリ、チョウセンカマキリ、コカマキリが揃って見つかりました。都会の真ん中でこれほどの虫がいるところは多分他にありません。子どもたちは大喜びでした。

いつものように、トン汁を作ってみんなで弁当を食べました。

午後は、ヨシ笛を作って吹いて遊んだり、セイタカアワダチソウの茎で矢を作り、それを竹の弓で飛ばして遊びました。



カンタンはカサを逆さにして捕まえます





当日つかまったカンタン左がメス、右がオス



手作りおもちゃの弓矢は子どもたちに大人気

今年「魚もよろこぶ荒川クリーンエイド」

荒川クリーンエイド、今年の一斉実施日は10月22日で、中土手に自然を戻す市民の会は、同日下平井水辺の楽校で行われるクリーンエイドに参加します。

中土手に自然を戻す市民の会としては、11月19日(日)に定例の作業とあわせて実施します。

なお、江戸川区水辺活動交流会が、今年は11月17日から19日の3日間、タワーホール船堀の1階展示場で行われますが、中土手に自然を戻す市民の会でも出展します。19日午前中は中土手でクリーンエイドを実施し、豚汁も作ってお昼を食べた後、タワーホールに向かいます。水辺交流会については次号に詳しくお知らせします。

お知らせ

10月28.29日は紅葉真っ盛りの大滝でカツラの巨樹(周囲13.5メートル)と鉄砲壠の見学もあります。(江戸川生活者ネットワーク主催)ご希望の方は佐藤までご連絡ください。

11月11日(土)は荒川クリーンエイド主催の中流見学会があります。荒川中流域の自然をたっぷり堪能できます。荒川クリーンエイド事務局までご連絡下さい。



下平井水辺の楽校でEボートを漕ぐ高瀬先生
いつも子どもたちと一緒に(写真中央)

高瀬嘉代子先生追悼会

日時:10月22日 午前11時から午後2時

会場:グリーンパレス2階「高砂」

大杉小学校の高瀬先生が亡くなられてから間もなく一年が経とうとしています。高瀬先生を偲んで、追悼会が行なわれます。当日はちょうど荒川クリーンエイドの一斉行動日で、時間帯も重なるところが多いかと思いますが、ご都合のつく方はぜひご参加ください。どなたでも自由にして良いそうです。

なお、詳しくは佐藤まで問合せください。